



大幸薬品

2026 年 8 月 31 日

創業 80 周年 大幸薬品「ラッパのマークは備えのしるし」プロジェクト
防災の日にあわせ、見落とされがちな「トイレの備え」の啓発活動を展開
「トイレの備え、忘れんといて。」

～大阪・梅田駅／なんば駅で、携帯用トイレを壁面から剥がして持ち帰れるピールオフ広告を掲出～

大幸薬品株式会社(本社:大阪市西区、代表取締役社長:柴田 高、以下「大幸薬品」)は、9 月 1 日の「防災の日」および防災週間にあわせ、災害時に見落とされがちな“トイレの備え”の重要性を伝える啓発活動を展開します。

当社が全国の 20～60 代の男女 1,095 名を対象に実施した意識調査では、災害時の不安の 1 位が「トイレ」である一方、非常用トイレの備蓄率は防災用品 13 項目中 10 位にとどまり、“不安は大きいのに、備えていない”というギャップが明らかになりました。このギャップを埋めるため、8 月 31 日(月)から 9 月 6 日(日)まで、Osaka Metro 御堂筋線梅田駅・なんば駅にて、携帯用トイレを壁面から剥がして持ち帰れる「ピールオフ広告」を掲出し、災害時のトイレ対策を呼びかけます。



▲掲出イメージ

大幸薬品はこれまで、ラッパのマークの『正露丸』をはじめとする製品を通じ、常備薬という形で多くのご家庭の「備え」を支えてまいりました。創業 80 周年を機に、その視点を防災へと広げ、「ラッパのマークは備えのしるし」プロジェクトを立ち上げ、日常の備えを見直すきっかけづくりに取り組んでいます。

その一環として、2026 年 7 月に全国の 20～60 代の男女 1,095 名を対象に「災害時のトイレ防災に関する意識調査」を実施。その結果、災害時のトイレに対する不安の大きさに比べ、実際の備えが十分に進んでいない実態が明らかになりました。

トイレの備えは見落とされがちですが、使えなくなってからでは対応が難しい備えのひとつです。大幸薬品はこれまでおなかの健康に向き合ってきた企業として、災害時にトイレを我慢することのリスクにも目を向けています。

だからこそ、トイレの問題を単なる設備の課題としてではなく、健康や暮らしを守るための「備え」のひとつとして捉え直すきっかけをつくりたいと考えています。こうした考えのもと、防災週間にあわせて「トイレの備え」に関する啓発活動を展開します。



大幸薬品

News Release

■携帯用トイレのピールオフ広告 ～トイレの備え、忘れんといて。～

本広告では、「トイレの備え、忘れんといて。」という大阪らしさを加えたメッセージとともに、災害時のトイレ事情に関する課題を提示しています。

当社が実施した調査で判明した、災害時の不安 1 位は「トイレ」である一方で、防災用品の中で非常用トイレの備蓄率は 13 項目中 10 位にとどまるというギャップを大きく訴求し、見落とされがちなトイレの備えの重要性を伝えています。また、広告内では「もしも非常用トイレがない時は…」として、「ポリ袋を便座に被せる」「刻んだ新聞紙を入れる」といった具体的な対処法もイラスト付きで紹介。

これまでご家庭の「備え」を支えてきた当社として、「ラッパのマークは備えのしるし」を掲げ、災害への備えを呼びかけます。



【広告掲出概要】

掲出期間: 2026 年 8 月 31 日(月)～9 月 6 日(日) ※ノベルティは 3 日(木)深夜～4 日(金)お昼に補充を予定しています。

掲出場所:

- ・Osaka Metro 御堂筋線「梅田駅」 北改札外通路(ヨドバシカメラやルクア方面へ向かう動線上)
- ・Osaka Metro 御堂筋線「なんば駅」 中改札外通路(南北自由通路)の壁面(2 カ所)

- ※ 本件に関しまして、駅係員へのお問い合わせはご遠慮ください
- ※ ノベルティはなくなり次第配布終了となります
- ※ 広告をご覧になる場合は、周囲の安全への配慮をお願いいたします
- ※ 掲出内容や期間は予告なく変更になる可能性があります

■ノベルティ:携帯用トイレと防災グッズリスト

啓発を“知る”で終わらせないため、壁面から剥がして持ち帰ることができるノベルティとして、災害時に利用できる携帯用トイレと封入チラシを 3 カ所計約 2,500 点※貼付しました。

携帯用トイレは、便器に取り付ける排便袋と凝固剤がセットになっており、記載されている使用方法にしたがって、災害時すぐにご利用いただけます。まずは 1 つ持ち帰っていただくことが、備えを始めるきっかけになると考えています。

また、封入チラシの裏面には、備え・防災アドバイザーの高荷 智也氏監修による、外出時に持ち歩いてほしい「携帯防災グッズリスト」を記載しています。非常用トイレ、ウェットティッシュ、胃腸薬・飲料水といった「おなかの備え」に加え、小型の LED ライト、笛・ホイッスル、携帯雨具・ポンチョ、モバイルバッテリーなどの「外出時に命を守るグッズ」をリスト化しました。 ※期間中の追加貼付分を含みます



大幸薬品株式会社

〒564-0032 大阪府吹田市市内本町3-34-14
<http://www.seirogan.co.jp>



大幸薬品

大幸薬品は、今後も「ラッパのマークは備えのしるし」というプロジェクトのもと、誰もが安心して暮らせる社会の実現に貢献してまいります。

■参考情報

「トイレ防災」のLP サイト:

<https://www.seirogan.co.jp/corporate/sonae/>

災害時のトイレ防災に関する意識調査:

<https://www.seirogan.co.jp/info-corporate/20260817/>

【ラッパのマークは備えのしるし 本プロジェクト監修】

備え・防災アドバイザー 高荷智也(たかに ともや) 氏

●プロフィール

合同会社ソナエルワークス 代表社員

備え・防災アドバイザー

「自分と家族が死なないための防災」をテーマに、地震・水害・パンデミックなどの自然災害から、銃火器を使わないゾンビ対策まで、堅い防災を分かりやすく伝える活動に従事するフリーの防災専門家。防災ユーチューバーや、Voicy パーソナリティ としても活動する。

大幸薬品「ラッパのマークは備えのしるし」プロジェクトでは、2026 年 1 月に大阪府吹田市で実施された防災ホイッスル特別講座「命を守る『音』の防災」に講師として登壇。



＜“ラッパのマークは備えのしるし”プロジェクトについて＞

大幸薬品は、ラッパのマークでおなじみの『正露丸』をはじめとする製品を通じ、常備薬という形で多くのご家庭の「備え」を支えてまいりました。

ラッパのマークに使われている「ラッパ」は、かつて合図や知らせに使われ、大切な情報を伝える役割を担っていたことに由来しています。

創業 80 周年を機に、この「備える」「知らせる」という原点を大切にし、『ラッパのマークは備えのしるし』プロジェクトを立ち上げました。暮らしの中の「備え」には、健康から防災まで、さまざまな形があります。

今後も『ラッパのマークは備えのしるし』のもと、暮らしに潜む“もしも”に目を向け、一人ひとりが日頃から備えを意識するきっかけとなるよう、多様な備えのあり方を提案してまいります。

＜大幸薬品株式会社について＞

大幸薬品は、【「自立」、「共生」、「創造」を基本理念とし、世界のお客様に健康という大きな幸せを提供します】の企業理念のもと、『正露丸』『セイロガン糖衣A』を主力製品とする医薬品事業と、低濃度二酸化塩素ガスの効果を用いた『クレベリン』を主力製品とする感染管理事業を活動の柱としております。近年、セルフメディケーションの重要性が高まる中、当社では家庭薬と感染管理による衛生対策で、お客様の健康への寄与を通じて、社会に貢献できればと考えております。